

モビリティ・ロードマップ 2026 骨子案

第 1 現状と課題

1. モビリティ・ロードマップ 2026 の策定の背景
(総論)
 - (1) 他国における自動運転技術の状況※ (海外での状況紹介)
 - (2) 我が国における自動運転技術の状況※ (国内での状況紹介)
 - (3) モビリティサービスの現状※ (L4 走行や実証状況) と将来の見通し
※物流を含む
2. モビリティサービス全体の課題
 - (1) 需要面・供給面 (交通商社機能に係る内容)
 - (2) 自動運転技術 (ルールベース、E2E など)

第 2 2025 年度の主な取組

1. 交通商社機能
 - (1) 優良事例 (調査事業の報告書より)
 - (2) 定義 (調査事業の報告書より)
 - (3) 普及に向けた課題 (調査事業の報告書より)
2. 自動運転サービスの事業化
 - (1) 取組事例 (先行的事業化地域の提案書より)
 - (2) 事業化に向けた課題 (先行的事業化地域の提案書より)
3. 自動運転に係るその他取組状況【P】 (自動運転社会実現本部、Road to the L4、自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会など各府省庁取組)

第 3 必要な施策

1. 交通商社機能
 - (1) 普及に向けた課題への対応 (先行的事業化地域への今後の取組)
2. 自動運転サービスの事業化

- (1) 事業化に向けた課題への対応（先行的事業化地域への今後の取組）
- 3. 自動運転技術の実装に向けた支援策（各府省庁の今後の取組）
 - (1) 自動運転技術のビジネスモデル
 - (2) 必要な技術の開発と普及
 - (3) 社会的受容性の向上

(参考資料)

- モビリティワーキンググループ構成員
- 「モビリティ・ロードマップ 2026」策定に向けた WG の開催状況
- 「モビリティ・ロードマップ 2026」工程表
- 各施策のイメージ
- 自動運転車に係る社会的ルールの実装のための重点施策への取組状況
- . . .